

E-01

Fujitsu Experience Day 2026

FUJITSU

AI・コンポーザブルで 進化し続けるGLOVIA

富士通株式会社
ソリューションアーキテクト事業本部

本資料には企画中・開発中の内容が含まれています。
記載内容は将来予告なく変更される場合があります。

© 2026 Fujitsu Limited

AIは使われている。それでも業務が変わらない理由がある

現場のリアル

手作業に依存した業務

経費精算やチェック業務など
人手と時間に依存している

部門/データが分断された業務

データや業務がつながらず、
全体の状況が見えない

判断が引き継がれない業務

データは引き継げて、
判断の根拠や意図は伝わらない

AIを使っても業務が変わらない理由

業務の中に 組み込まれていない



AIが“分析ツール”として
業務の外で使われている

ルールや判断基準が AIに入っていない



業務ルールや承認は
結局人が判断している

データや業務が つながっていない



横断での判断や
全体最適ができない

個人・部門単位の 活用にとどまる



AI活用の取り組みが
組織・業務全体に広がらない

結果として… 気づきはあるが、判断も行動も人に戻る（業務は変わらない）

この課題に対し、GLOVIA×AIは業務の進み方そのものを変えます

業務は「正しく進み、最適に判断され、先回りに対応される」ことで成り立つ
GLOVIAは、この一連の流れをAIでつなぎ続けます

業務を支える4つの提供価値

1 正確性の担保

正しいデータを前提に業務を止めない
(入力ミスや欠損を防ぎ、数字の確からしさを担保)

2 自社ルールでの妥当性判断

一般的な正しさだけではなく
“自社ルールで正しいか”を判断する

3 監査・リスクの先回り

異常やリスクを早期に捉え
先回りに対応する

4 意思決定の高度化

全体を俯瞰し、気づきを与え
判断の質とスピードを高める

エージェント実行

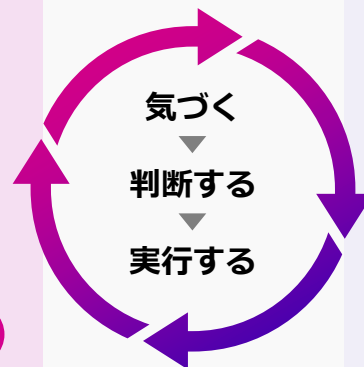
次の一手を止めない“判断”と“実行”のAI

ChatBI（判断するAI）



- データを横断して可視化・分析
- 論点やリスクを明確化
- 示唆を提示

気づき・洞察を得て、意思決定を支援



AgenticERP（実行するAI）



- 業務ルールに基づき判断
- 必要な処理を自動実行
- 業務フローを自律的に進行

判断を業務に反映し、実行まで自動化

実際の業務シーンを通じて、GLOVIA×AIの提供価値をご体感いただきます。

デモテーマ No.1

横断チェック業務の自動化

1

正確性の担保

2

自社ルールでの妥当性判断

3

監査・リスクの先回り

デモテーマ No.2

資金繰りリスクの可視化

1

正確性の担保

2

自社ルールでの妥当性判断

3

監査・リスクの先回り

デモテーマ No.3

着地点分析に伴うスピーディな経営判断

4

意思決定の高度化

デモテーマ①： 業務システム→会計連携&異常仕訳検知

業務を支える4つの提供価値

1 正確性の担保

正しいデータを前提に業務を止めない
(入力ミスや欠損を防ぎ、数字の確からしさを担保)

2 自社ルールでの妥当性判断

一般的な正しさだけではなく
“自社ルールで正しいか”を判断する

3 監査・リスクの先回り

異常やリスクを早期に捉え
先回りに対応する

4 意思決定の高度化

全体を俯瞰し、気づきを与え
判断の質とスピードを高める

活用データ



業務システム

売上・仕入・経費情報など



会計システム

仕訳情報

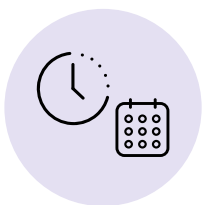


個社規定

異常検知ルール（社内規定、承認ルールなど）

①自動連携・チェック (Agentic ERP)

定期的な異常検知でリスクを早期把握



データ自動連携



異常値検知



リスト作成



自動通知



②深掘り・分析 (ChatBI)

自然言語で深掘り・論点整理



傾向把握



偏り分析



論点整理



デモテーマ②： 資金繰りを“見える化”し、先回りで資金リスクを制御する

業務を支える4つの提供価値

1 正確性の担保

正しいデータを前提に業務を止めない
(入力ミスや欠損を防ぎ、数字の確からしさを担保)

2 自社ルールでの妥当性判断

一般的な正しさだけではなく
“自社ルールで正しいか”を判断する

3 監査・リスクの先回り

異常やリスクを早期に捉え
先回りで対応する

4 意思決定の高度化

全体を俯瞰し、気づきを与え
判断の質とスピードを高める

活用データ



販売システム

受注・仕入/支払予定



会計システム

入出金/回収情報



外部データ

与信・評点・口座情報

①状況把握・判断材料の整理 (ChatBI)

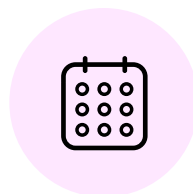
横断データで資金の見通しを見える化



資金残高の推移



資金不足リスク

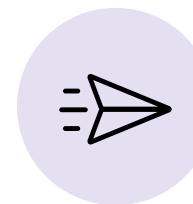


遅延傾向の把握

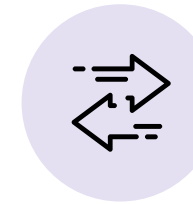
判断材料を
もとに
アクションへ

②実行 (Agentic ERP)

通知・判断・資金アクションまで自律実行



通知・共有



資金移動



回収対応

デモ③ 着地点分析に伴うスピーディな経営判断

業務を支える4つの提供価値

1 正確性の担保

正しいデータを前提に業務を止めない
(入力ミスや欠損を防ぎ、数字の確からしさを担保)

2 自社ルールでの妥当性判断

一般的な正しさだけではなく
“自社ルールで正しいか”を判断する

3 監査・リスクの先回り

異常やリスクを早期に捉え
先回りに対応する

4 意思決定の高度化

全体を俯瞰し、気づきを与え
判断の質とスピードを高める

活用データ



販売システム

受注残・出荷予定など



会計システム

予算・P/L実績



外部データ

為替レートなど

月中で着地を予測・分析し、打ち手を提案（ChatBI）

現状把握

今月の着地見込みと未達リスクを即座に確認



現時点の営業利益着地は
予算に対してどうなる？

事業別・セグメント別に、
着地見込みを比較して

原因特定・予測

未達の主因と、先行きの変化要因を深掘り



営業利益未達の主因は何？

為替が営業利益に与える
影響を教えて

改善提案

優先すべき打ち手提示、意思決定へつなげる



改善効果が最も大きい施策は？

売上・粗利・販管費
どこから改善すべき？

“次の一手”が止まらない、GLOVIAの構造

GLOVIA Oneは、「Core（基幹）× コンポーザブル（エコシステム） × AI」

- ・ Coreで基幹業務を支え、コンポーザブルで業務を柔軟に拡張。そしてAIが判断から実行までをつなぐ。
- ・ 「次の一手」までつながる理由は、“広げ続けられる仕組み”と“業務を理解したAI”にあります。

GLOVIA One

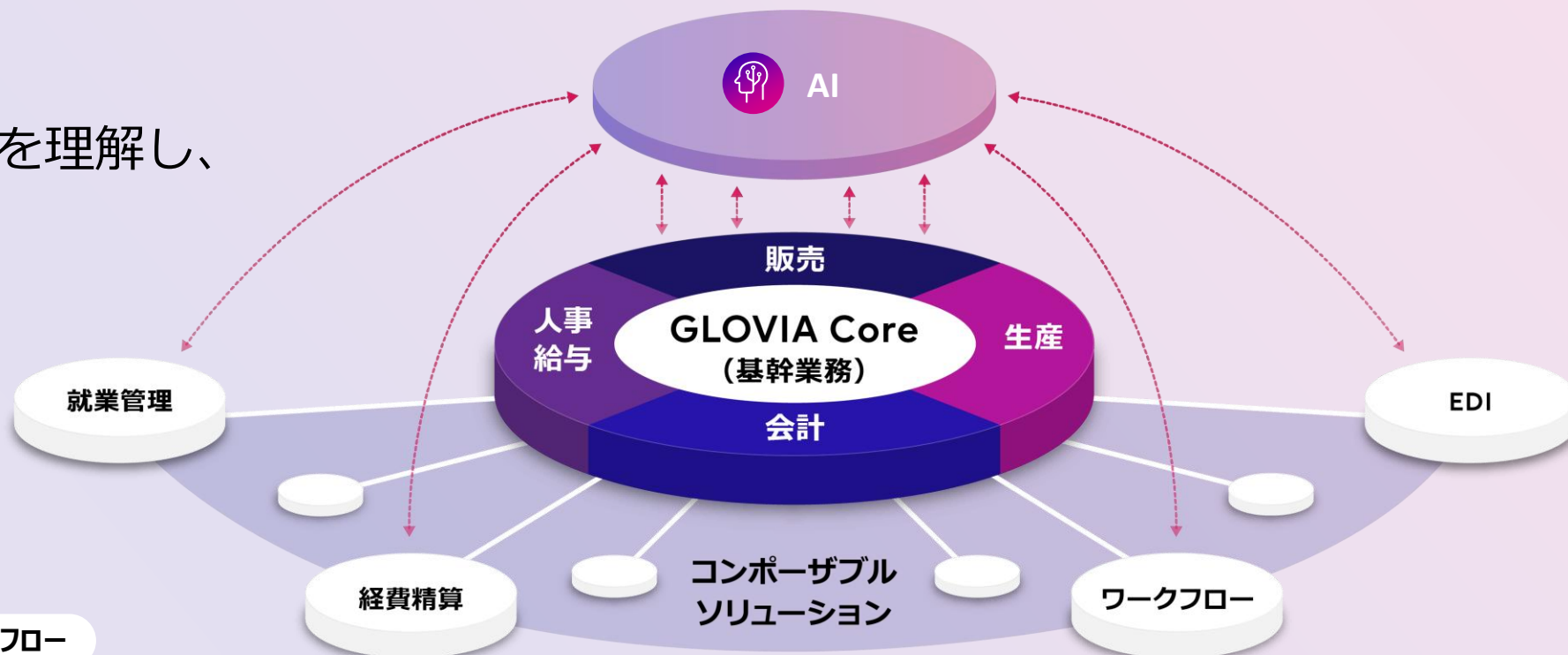
AIが業務ルールとデータを理解し、
可視化・判断・実行

 業務ルールを理解したAI

GLOVIA知識

個社ごとの知識

業務フロー



“次の一手”を支える力 = GLOVIAの共進化

“次の一手”が止まらない理由は、業務を理解するAIと、進化し続ける仕組みにあります

1 業務を理解したAI 富士通の知見がAIを強くする

GLOVIAの業務知見

会社規定/判断ロジック

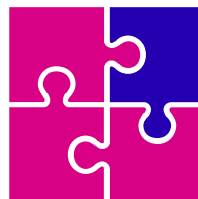


- ・日本企業の業務・商習慣に長年向き合ってきた知見をAIに組み込み
- ・各社固有の運用規定や業務フローも理解したAI

2 変化に合わせて広がる仕組み コンポーザブルで柔軟に拡張



業務機能



AI部品(MCP)

- ・コンポーザブルソリューションにより、業務機能を柔軟に組み合わせ
- ・変化に合わせて広がっていける仕組み（MCP）

3 自社で進化し続けられる プラットフォーム 共に作り、育て、進化する



- ・あらかじめ用意された業務・連携部品をベースに自社専用のAIを簡単に構築
- ・導入して終わりではなく、使い続けるほど進化



理解する



広がる



進化する

現場の変化と経営の判断が循環し、成長に向けた進化が続く状態 = GLOVIAで実現する、**ビジネスの共進化**

だから、GLOVIAは“次の一手”を止めない

「自分たちの業務に合わせられる」 GLOVIA Oneの“共進化プラットフォーム”

お客様ごとに、業務は異なります。だから、自分たちの業務にあったもの簡単に使える仕組みが必要。
GLOVIA One はお客様固有の業務プロセスに合わせて、「簡単」に「最適化」できる仕組みです。



すぐに使えるアセットで、業務にAIを広げていける

すべてをゼロから作る必要はありません。

GLOVIAでは、業務で使える部品やテンプレートがあらかじめ用意されています。

準備されているアセット

ChatBI



予実分析
テンプレート



KPI分析
テンプレート



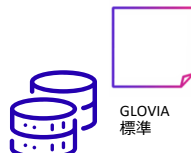
人事分析
テンプレート

AgenticERP



Agent Skill
テンプレート

・ログイン
・データ抽出
・マスタ登録



RAG情報

GLOVIA
標準

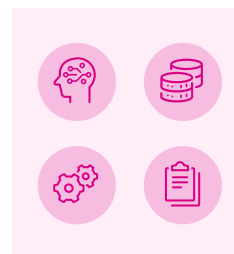


MCP

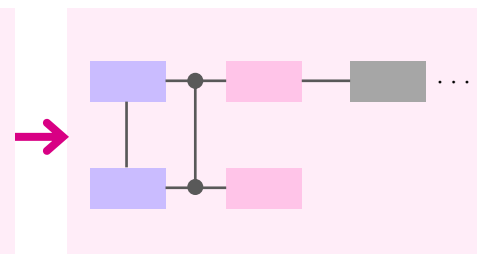
GLOVIA/
コンポーザブル/
外部サービス

お客様による組み込み・設定

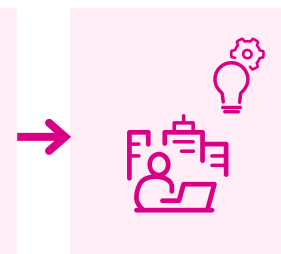
- ・ 自社の業務フローにあわせてアセットを組み換え
- ・ 自社の社内規定/業務ルールの設定



豊富なアセット



自社に最適な組み合わせ

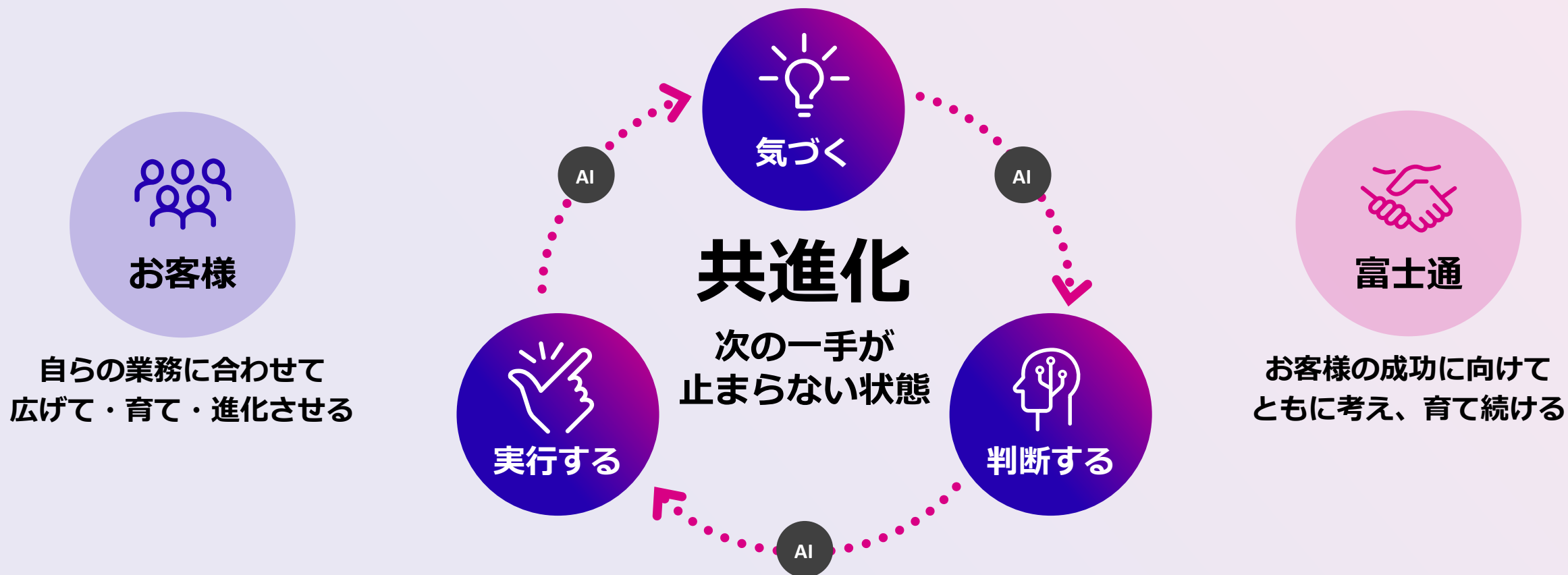


自社専用の
AI業務フロー

AI活用を個別最適で終わらせない。業務全体にAIを浸透させ、進化し続ける

共に作り、育て、進化する それが、GLOVIAの共進化

GLOVIA One プラットフォームは、業務とAIを一体化し、
「気づく → 判断する → 実行する」を業務の中で循環させ続けることで、進化し続ける業務を実現します。



本資料をご覧いただきありがとうございました。

**ご不明な点や詳細なご相談、ご紹介した内容に関するお問い合わせは、
以下までお気軽にご連絡ください。**

FJ-GLOVIAOne商談問合せ <fj-glovione_request@dl.jp.fujitsu.com>

Thank You

